

2023 年度哲学若手研究者フォーラム研究集会  
全体会資料

日時 2023 年 7 月 15 日 (土)  
午後 6 時 30 分～  
場所 国立オリンピック記念青少年総合センター  
4 階 417 号室

全体会資料作成者：総務 高萩智也

## 全体会次第

1. 開会
2. 議事
  - (ア) 2023 年度哲学若手研究者フォーラム 運営報告
  - (イ) 哲学若手研究者フォーラム運営委員に対する勤怠システムの導入、運営委員の勤務時間に関する報告
  - (ウ) 運営委員に対する旅費の支給に関する報告
  - (エ) 2023 年度の研究集会運営業務に対する日当支給の提案
  - (オ) Peatix を通じた寄付開始に関する報告と継続的な支援のお願い
  - (カ) 2023 年度哲学若手研究者フォーラム 会計報告
  - (キ) 2023 年度哲学若手研究者フォーラム 会計監査報告
  - (ク) 哲学若手研究者フォーラムホームページ SSL 認証化の報告
  - (ケ) 哲学若手研究者フォーラムにおける「若手」の意味について
  - (コ) 2023 年度哲学若手研究者フォーラム研究集会個人研究発表枠をめぐる抽選に関する報告
  - (サ) 2023 年度哲学若手研究者フォーラム 宿泊手配の全面的な取りやめに関する報告とお詫び
  - (シ) 哲学若手研究者フォーラム 次年度以降の宿泊手配について
  - (ス) 2023 年度哲学若手研究者フォーラム 執筆負担金減額の報告、及び次年度以降の執筆負担金減額について
  - (セ) 哲学若手研究者フォーラム研究集会への早期参加登録のお願い
  - (ソ) 哲学若手研究者フォーラム司会割り振り手続きに関わる報告
  - (タ) 2024 年度哲学若手研究者フォーラムの開催日及び開催場所、開催方法について
3. 退任・新任役員の挨拶
4. 閉会

## (ア) 2023 年度哲学若手研究者フォーラム 運営報告

### 1. 諸会議の開催

会議名	年月日	場所	内容
第 0 回	2022/09/20	zoom	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 役職決め</li><li>・ 前年度の振り返り</li><li>・ 今年度の流れ確認</li></ul>
第 1 回	2022/11/19	zoom	<ul style="list-style-type: none"><li>・ レクチャーテーマ候補の選定</li><li>・ 今後の改革について (寄付、HP)</li></ul>
第 2 回	2023/02/10	zoom	<ul style="list-style-type: none"><li>・ レクチャーテーマ「ケアの倫理」の決定 (後に「〈ケアの倫理〉と〈倫理学〉」へ変更)</li><li>・ レクチャー候補の選出</li><li>・ 対面開催への懸念事項の確認</li><li>・ 寄付者に対するお礼の記載について</li><li>・ メーリスのトラブルについて</li></ul>
第 3 回	2023/03/28	zoom	<ul style="list-style-type: none"><li>・ テーマレクチャーの開催方法について</li><li>・ 発表募集とアブスト締め切り時期について</li><li>・ 運営委員への旅費補助に関して</li><li>・ 次期運営委員候補について</li></ul>
第 4 回	2023/06/03	zoom	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 発表時間の変更 (一枠 75 分から 50 分へ)</li><li>・ 全体会の日時変更</li><li>・ Peatix の設定について</li><li>・ 「しおり」について</li><li>・ 施設見学の結果報告 (次回開催場所、金銭授受に関する規則、当日までに用意すべき物品の確認等)</li><li>・ 司会者マニュアルの作成を決議</li><li>・ アブスト校正作業の分担</li></ul>
臨時 I	2023/06/22	zoom	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 発表形態について (録音・録画に関わる決議)</li><li>・ インクルーシブな施設利用に関する決議</li><li>・ Peatix の設定について</li><li>・ 運営委員の懇親会について</li><li>・ 次期運営委員の選出について</li></ul>
臨時 II	2023/07/06	zoom	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 旅行業法に抵触することへの対応</li><li>・ 宿泊キャンセルに伴う手続きへの対応</li><li>・ 司会者の割り振り (案)</li></ul>

直前	2023/07/11	zoom	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当日のスケジュール確認及び配置決定</li> <li>・今年度の執筆負担金について</li> <li>・備品買い物リスト作成</li> <li>・経費報告</li> <li>・開催後アンケート作成</li> <li>・申し込みなしで来場した参加者への対応決定</li> <li>・運営の実働時間計算</li> <li>・全体会のスケジュール確認</li> <li>・前日のスケジュール確認</li> <li>・来年度の開催日時・場所の仮抑え</li> </ul>
----	------------	------	---

なお、より詳細な内容については議事録のページをご覧ください（<https://www.wakate-forum.org/data/2023/minutes.php>）か、要望があれば開示いたします。なお次期運営委員の選出業務にあたり、議事録のうちには現運営委員や次期運営委員（候補）のジェンダーに関わる記述が含まれますが、その部分は個人情報となるため開示することはできません。ご了承ください。

## 2. Slack での討議・決議

2023 年度は原則として zoom での会議を最大 2 時間までとし、残された議題はワークスペース型のビジネスアプリである Slack を用いて討議及び決議いたしました。

## 3. 施設への事前見学

対面開催へと戻すにあたり、2023 年 5 月 27 日に総務、施設、会計、の三名で、国立オリンピック記念青少年総合センターの事前見学を行いました。

## 4. 『哲学の探求』第 50 号の刊行

2023 年 3 月に『哲学の探求』第 50 号を刊行いたしました。2022 年度のテーマレクチャー「社会存在論」にご登壇いただいた先生方による論文 2 本と、個人研究発表を行ってくださった方々による論文 7 本、計 9 本の論文が掲載されています。

## 5. 2023 年度哲学若手研究者フォーラム研究集会の開催

2023 年度は 4 年ぶりに、国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて研究集会を開催することができました。今年度は発表件数が多いこともあってか、2023 年 7 月 15 日 15 時現在、240 名を超える方から参加登録をいただいております、大変盛況となっております。皆さまのご参加に心より感謝いたします。

(イ) 哲学若手研究者フォーラム運営委員に対する勤怠システムの導入、運営委員の勤務時間に関する報告

1. 勤怠システムの導入

運営委員の勤務実態（被拘束時間の実態）を把握し、運営委員の労働に対して適切な謝礼が払われているか否かを把握するため（また、適切な謝礼が払われていない場合には改善を要求し実行するため）、2023年度より、Google form を通した簡便な勤怠システムを導入いたしました。この勤怠システムの導入は、担当間の業務量・時間の格差をなるべく少なくし、場合によっては業務の再配分等を行うためでもありました。

2. 運営委員の勤務時間等

2023年度（期間：2023年引き継ぎ～2023年7月13日23時59分まで）における各運営委員の勤務時間を以下に報告いたします。

	勤務時間
総務	53時間55分
会計	39時間45分
施設	24時間34分
テーマレクチャー	44時間11分
HP・Twitter	45時間28分
通信	48時間02分
『探求』編集（1年目）	19時間51分
『探求』編集（2年目）	62時間10分

（表1）

なお、上の表に大会前日準備、当日運営の勤務時間は含まれておりません。また、今後引き継ぎ業務等で各々の勤務時間はさらに増える見込みです。2023年度分を集計したものを引き継ぎ後に、HPへとアップいたします。

#### (ウ) 運営委員に対する旅費の支給に関する報告

哲学若手研究者フォーラムのメーリングリストにご登録の皆さまには、すでに 2023 年 4 月 4 日に「運営方針の変更についてのご提案」と題したメールでご連絡差し上げました通り、2023 年 3 月 28 日の第 3 回運営会議にて、運営委員の待遇改善のため、今後希望する全運営委員に対して業務に関わる旅費（交通費と宿泊費）の実費支給を行うことを提案いたしました。定められた期間である 4 月 4 日から 4 月 18 日までの間に反対意見が認められなかったため、決議されたものとみなします。

#### (エ) 2023 年度の研究集会運営業務に対する日当支給の提案

「(イ) 2023 年度哲学若手研究者フォーラム 運営委員に対する勤怠システムの導入、運営委員の勤務時間に関する報告」の(表 1)を受けて、年間報酬 2 万円では今年度の運営委員の業務時間に明らかに見合っていないと考えます。そこで研究集会当日である 7 月 15 日、16 日両日の業務に対して、各運営委員に追加で日当 5,000 円（両日で 10,000 円）を支給することを、ここに提案いたします。なお、この場 2023 年度哲学若手研究者フォーラム研究集会全体会にて決議を行います。

#### (オ) Peatix を通じた寄付開始に関する報告と継続的な支援のお願い

哲学若手研究者フォーラムのメーリングリストにご登録の皆さまには、すでに 2023 年 4 月 4 日に「運営方針の変更についてのご提案」と題したメールでご連絡差し上げました通り、哲学若手研究者フォーラムは今年度より、研究集会の開催に際して、Peatix を通じて寄付を募ることとなりました。これまででも対面開催の折に募金箱を受付に設けたことはありましたが、寄付額は少額にとどまっておりました。2023 年度にはこの方法をとったことにより、多くの皆さまから多額のご寄付をいただきました。深く感謝いたします(2023 年 7 月 15 日 15 時現在の寄付総額は 671,300 円です)。哲学若手研究者フォーラムの存続のため今後も継続的なご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

## (カ) 2023 年度哲学若手研究者フォーラム 会計報告

会計担当が会計報告を行います。別資料1「2023 年度哲学若手研究者フォーラム会計報告書」と別資料2「2023 年度哲学若手研究者フォーラム研究集会に関わる会計報告書」をご覧ください。なお 2023 年度哲学若手研究者フォーラム研究集会に関わる会計は 2023 年 7 月現在において未払いである分を含むため、確定後の報告書を年度末（8 月末日）以降に改めて HP にアップいたします。

## (キ) 2023 年度哲学若手研究者フォーラム 会計監査報告

2023 年度哲学若手研究者フォーラム会計と 2023 年度哲学若手研究者フォーラム研究集会に関わる会計について、2023 年 7 月 14 日午後 8 時より、オンラインにて報告書、帳簿、通帳、領収書を監査したところ、適正に処理されていることを認めました。

2023 年 7 月 14 日

会計監査 高萩 智也



## (ク) 哲学若手研究者フォーラムホームページ SSL 認証化の報告

哲学若手研究者フォーラムホームページ SSL 認証化の報告を HP・Twitter 担当が行います。以下をご覧ください。

フォーラム HP を SSL 認証化いたしました。SSL (Secure Socket Layer) によって、HP にアクセスする際のデータのやり取りを暗号化しております。結果として、これまで以上に、セキュリティ上安全にフォーラム HP をご覧いただくことが可能となりました。URL としましては、http の部分が https となり、それ以降はこれまでと同様です。http の方でアクセスされる方もいるかもしれないことを考慮して、そのようなアクセスがあった場合には、自動的に https の方にアクセスするようにプログラムを配置しております。

## (ケ) 哲学若手研究者フォーラムにおける「若手」の意味について

哲学若手研究者フォーラムのメーリングリストにご登録の皆さまには、すでに 2023 年 4 月 4 日に「運営方針の変更についてのご提案」と題したメールでご連絡差し上げました通り、哲学若手研究者フォーラムでは、研究者としてのキャリア形成が多様化してきた昨今をふまえて、哲学若手研究者フォーラムが想定する参加者である若手研究者の「若手」が年齢の若さを意味しない、ということを改めて皆さまにお伝えいたしました。以下に当該メールの文面を引用し、ご報告とさせていただきます。

若手フォーラムは「全国若手哲学研究者ゼミナール」という名前で始まって以来、現在の名称に変更されてからも、「若手」による若手のための組織として運営してまいりました。それは英語名「The Japan Forum for Young Philosophers」にも反映されております。そして「若手」という言葉が、年齢が若いということを陰に陽に意味してきたように思います。確かに従来キャリア形成において若手研究者であることと年齢が若いことは強く結びついていました。しかし研究者としてキャリアを形成する方法が多様化しつつある今、その結びつきは薄れつつあります。またそうなるべきである、と運営委員一同は考えます。年齢を問わず、キャリア形成の初期段階にある方々のご参加・ご発表を心よりお待ちしております。またキャリア形成によって、研究者としてのキャリアを意味するわけではないこともご承知おきください。

## (コ) 2023 年度哲学若手研究者フォーラム研究集会個人研究発表枠をめぐる抽選に関する報告

4 年ぶりの対面開催となったこともあり、2023 年度哲学若手研究者フォーラム研究集会の個人研究発表およびワークショップの応募が 80 件にのぼりました。運営委員一同、できる限り多くの発表者を受け入れられるよう努め、個人研究発表の発表時間をこれまでの 75 分から 50 分へと変更しました。しかし会議室のさらなる確保等が叶わなかったため、59 件（うちワークショップ 1 件）の発表のみを受け入れることを決議し、抽選により発表者の選出を行うことを決議しました。なお誠に勝手ながら、昨年度の哲学若手研究者フォーラム研究集会において希望した方式で発表を行っていただいた方は、抽選から除外させていただきました。ただしこれに該当する方には、来年度の研究集会において発表する権利を付与いたしました。



(サ) 2023 年度哲学若手研究者フォーラム 宿泊手配の全面的な取りやめに関する報告とお詫び

2023 年 7 月 5 日に発覚した、運営による宿泊手配に関わる問題について、7 月 10 日にメーリングリストと HP を通じてすでにご報告しておりますので、ここでは割愛させていただきます。詳しくは若手フォーラムの HP から「2023 年度哲学若手研究者フォーラムにおける宿泊手配取りやめの経緯報告」をご覧ください。この事案により通常業務に遅れが生じ、ご心配ご迷惑をおかけしましたことを関係者の皆さまにお詫び申し上げます。

(シ) 哲学若手研究者フォーラム 次年度以降の宿泊手配について

「(コ) 2023 年度哲学若手研究者フォーラム 宿泊手配の全面的な取りやめに関する報告とお詫び」をうけて、次年度以降も宿泊手配を全面的に取りやめることを提案いたします。しかしこの提案は哲学若手研究者フォーラムのあり方を根本から変える可能性があることから、開催後アンケートにて意見を受け付ける期間を設けたのちに、次期運営委員が来年度以降の方針を決議することといたします。

(ス) 2023 年度哲学若手研究者フォーラム 執筆負担金減額の報告、及び次年度以降の執筆負担金減額について

哲学若手研究者フォーラムでは、1972 年以降、研究集会の発表原稿をもとにした論文掲載雑誌『哲学の探求』を年一度刊行してきました（詳しくは哲学若手研究者フォーラムの HP から『哲学の探求』のページをご覧ください）。現在その発行にあたり、各著者に 8,000 円の執筆負担金を課しています（テーマレクチャーの講師は除く）。以前よりこの金額が必要以上に高額であるとの指摘を受けてきましたが、さまざまな事情でこれまで実質的な減額がなされていませんでした。現運営委員はこの事態を重く受け止め、次号すなわち第 51 号の執筆希望者に対しては 7,000 円まで減額することを決議いたしました。以下に理由を報告いたします。

7,000 円にまで減額すべき主な理由	7,000 円以下には減額すべきでない主な理由
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2023 年 7 月現在、プール金が約 1,340,000 円ある。1,000,000 円以上は将来のリスクを考えても持ちすぎであるため、一旦参加者に還元する。</li> <li>● 例年、発表者のうち 3 分の 1 程度が『哲学の探求』に執筆を希望する。2023 年は発表者が多いため、7,000 円に下げても、総額では執筆負担金の増収が見込まれる。</li> <li>● 今年度は寄付金による増収が見込まれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 不測の事態に備えて 1,000,000 円はプールしておきたい（今後、2023 年度と同程度の寄付や参加費を集められるとは限らない。また施設利用料も年々上がっている）。</li> <li>● 2015 年に執筆負担金を廃止した際、執筆希望者多数で運営業務に支障をきたしたことがある（ただし、2015 年と比べると現在は校正フローが簡略化されているという違いはある）。</li> <li>● 運営委員の労働環境を先に改善したい。</li> </ul>

なお決議が直前となったため全体会でのご報告となりますが、執筆負担金減額を後日 HP とメールにてご連絡いたします。また決議にあたっては、運営委員の間で哲学若手研究者フォーラムのあり方までをめぐって激しい議論が交わされました。『哲学の探求』第 52 号以降の執筆負担金の最終的な決定は、次期運営委員の判断に委ねることといたします。

(セ) 哲学若手研究者フォーラム研究集会への早期参加登録のお願い

哲学若手研究者フォーラムでは現在、研究集会の参加者に対して、参加登録と同時に司会担当の可否をお伺いしております。その上で司会担当可能な参加者のリストを作成し、運営委員が分野の相性等を考慮して、司会の割り振りを行っています。この方法をとっている限り、

多くの皆さまに参加登録をして頂かなければ、時間に余裕をもって司会担当の決定をご連絡することが叶いません。お忙しいところ誠に恐れ入りますが、来年度以降は参加募集のご連絡がお手元に届きましたら、できる限り早期の参加登録をお願いいたします。

#### (ソ) 哲学若手研究者フォーラム司会割り振り手続きに関わる報告

哲学若手研究者フォーラムではこれまで、参加者に対して司会担当をお願いしてきました。しかし司会担当を申し出てくださる参加者が少ない年が続いたことから、過去数年間にわたり、「司会を担当できない」にチェックを入れない限り司会担当に同意したこととみなし、司会を割り振るといふ司会割り振りの手続きをとってきました。今回の研究集会において、この手続きに対して懸念を表明された参加者がいらしたことを報告いたします。今後の運営の参考とさせていただきます。

#### (タ) 2024年度哲学若手研究者フォーラムの開催日及び開催場所、開催方法について

来年度、つまり2024年度の哲学若手研究者フォーラム開催日は2024年7月13日(土)及び14日(日)を予定しております。今年度と同様、国立オリンピック記念青少年総合センターを仮予約済みです。ただし対面開催は施設利用料の高騰や運営委員の旅費がかかることを考えると、隔年で対面開催とオンライン開催を行う等の方針変更も必要だという運営委員の意見があります。また国立オリンピック記念青少年総合センターでは、施設の構造上、インクルーシブな運営を行うことが難しいという懸念もあります。こうした点をふまえて、来年度の開催方法の最終的な決定については皆さまのご意見を伺った上で、次期運営委員の判断に委ねることといたします。どのような開催方式になるにせよ、来年度の哲学若手研究者フォーラム研究集会への皆さまのご参加を運営委員一同、心よりお待ちしております。